

障害者控除対象者認定申請書

府中町長

令和 年 月 日

所得税法施行令第10条及び地方税法施行令第7条又は第7条の15の7に定める障害者・特別障害者としての認定を申請します。(令和 年 月 日現在)

(申請者) 郵便番号 _____

住 所 _____

氏 名 _____

電 話 () _____

認定を受けようとする者との続柄 _____

(認定対象者)

認定にあたっては、私の要介護認定に係る資料を関係機関において府中町が調査・確認することに同意します。

フリガナ
氏名 _____

住所 府中町 _____

生年月日 大正・昭和 年 月 日 _____

※本人が自書できない場合 代筆者氏名 _____

障害者手帳の所持	無	有	(※有の場合は障害者手帳により控除を行ってください。)
----------	---	---	-----------------------------

障害の程度の確認方法 (以下の項目の1か2のいずれかを一つ○で囲んでください。)

1 要介護認定に係る資料

(当てはまる項目を○で囲み、必要事項を記入してください)

ア) 歩行可能である

イ) 平成・令和 年 月以降 歩行不可能(ねたきり)である。

必要事項)

2 医師の診断書

裏面の日常生活状況調査票の項目1～33のうち、当てはまるものを○で囲み、あわせて、医師の診断書を添付してください。

□ 日常生活状況調査票

※ 該当する内容の項目番号に○をしてください。

1	杖等を使用すれば、時間がかかっても自分で歩くことができる。
2	付き添いが手や肩を貸せば、歩くことができる。
3	歩行不可能（ねたきり）である。（平成・令和 年 月以降継続）
4	スプーン等を使用すれば、自分で食事ができる。
5	スプーン等を使用し、一部介助すれば食事ができる。
6	寝たままで、食べさせなければ食事ができない。
7	自分で便所に行くことができる。
8	誘導すれば、自分で便所に行くことができる。
9	介助があれば簡易便器でできる。
10	時々失禁する。
11	常に失禁する。
12	自分で入浴できる。
13	自分で入浴できるが、洗うときだけ介助を要する。
14	浴槽の出入りに介助を要する。
15	自分で入浴できないのですべて介助を要する。
16	自分で衣服の着脱ができる。
17	手を貸せば衣服の着脱ができる。
18	自分で衣服の着脱ができないので、すべて介助を要する。（「ねたきり」の方は、以上の記述で終了）
19	衣服等を糞尿で汚す。
20	場所をかまわず放尿、排便する。
21	糞尿をもてあそぶ。
22	タバコ等の火の不始末がある。
23	常に火をもてあそぶ。
24	自分の衣服を裂き、破く。
25	自分の身体を傷つける。
26	自殺を図る。
27	家中をあてもなく歩き回る。
28	屋外をあてもなく歩き回る。
29	時には興奮し、騒ぎたてる。
30	しばしば興奮し、騒ぎたてる。
31	いつも興奮している。
32	乱暴なふるまいをする。
33	他人に暴力をふるう。